

目標達成計画

作成日: 平成 30年 6月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	突発的で推測も難しいケースではあったが、夜間帯に居室内で転倒・滑落事故が続いた。抑制にならない程度にクッションやコールマットを活用し、迅速に対応を図ったが、全てを守れなかった。又リスク管理が必要な方が複数いる為、対応が重なった時には、完全な対応が出来ない。	全ての事故を未然に防ぐ。又夜間帯の対応を強化し、転倒・滑落事故を防止する。	全体会議を用いて、リスクマネジメント方法を改めて全職員で話し合い、意識共有を高める。又想像以上の事も想定し、対応を図れるように準備する。職員間の意識共有を高めるように常日頃から、留意事項を確認し合い、チームケアを用いて、守備範囲を高める。	12ヶ月
2	49	人員に余裕がなかったり、入居者の重度化もあって、以前は行っていた遠出外出の機会が大きく減っている。入居者の新しい思い出や生活の快作りに対して、消極的であった。	入居者に新しい発見や思い出、一時の楽しみを沢山抱いてもらえるように、今まで行った事のない遠出外出を実践する。	季節に応じて、入居者が喜びそうな外出場を全職員で話し合い、今まで行った事がない外出を企画する。そして安全に円滑に外出できるように、前もって行事計画を作成し、シフト作成段階から人員の調整を行う。又ボランティアやご家族にも協力を仰ぎ、人員不足を解消する。そして車運転できる職員を増やし、外出戦力を整える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。